

解答

一

- 問一 ① 修理 ② 反射 ③ 行方 ④ 順延 ⑤ 復旧 ⑥ 著名 ⑦ 漂〔う〕
⑧ 鋭〔い〕 ⑨ 潮 ⑩ れいたん ⑪ のうり ⑫ きねん ⑬ こころざし
⑭ せま〔る〕 ⑮ いだ〔く〕
- 問二 ① イ ウ ② ウ エ ③ エ
- 問三 ① 詩 ② 紙 ③ 馬
- 問四 ① カ ② ア ③ キ

二

- 問一 I オ II イ III ウ
- 問二 服のポケ ス うな知性
- 問三 C
- 問四 「知性のある人」について、最近の人は、情報の引き出しをたくさん持つ人であると考え、筆者は、学識、教養といった要素に加えて、協調性や道徳観といった要素を併せ持った総合的なものを持つ人であると考えている。

三

- 問一 A ウ
- 問二 a エ b ウ
- 問三 灼熱の砂漠という厳しい環境の中を自転車で走りきった達成感。
- 問四 ぼくの怠
- 問五 最悪の場
- 問六 イ
- 問七 イ
- 問八 多くの親切を受け、支えられて生きていることを忘れず、これからは自分がそれを人に返したいと考えている。

解説

二

- 問五 傍線部③の後にある「虚心に好奇心を持たない」、「最初から先行きを予想してやめてしまっている」という記述から「物事の本質を探究しようとする気持ちが失われている」という記述を含む選択肢ウが選べます。本文後半にある「われわれはみな、」ではじまる段落に着目します。われわれは電車の乗り方を知り、目的地に行けるが、車両のメカニズムについてほとんど知らずにいることに対し、未開の社会の人間は、自分たちが使っている道具について、われわれよりはるかに知悉しているという内容から、選択肢イが選べます。

三

- 問六 傍線部③の「そのこと」とは、これまでに多くのやさしさや善意を受け取ってきたことを指しています。人の親切を受け取るだけ受け取って、人の厚意にあまえばなしで、いい旅だったと勝手に思っていることに気づき、やるせなさを感じていることから、最も適当なものは選択肢イであることがわかります。
- 問七 傍線部④の直前に着目します。まったく人を寄せつけない、不毛の砂漠に鹿がいるなんて……。と、夢でも見ていたのだろうかと思ひ、ひどく満ち足りたような気分になった様子から、選択肢イが選べます。